

反対の性質をもつ量

学習日 月 日

年 組 番 氏名

[1]

(1) 100 円の収入 \longrightarrow +100 円の収入
200 円の支出 \longrightarrow -200 円の収入

(2) おこづかいが 1000 円増える \longrightarrow +1000 円増える
おこづかいが 500 円減る \longrightarrow 増える

(3) 2 万円の利益 \longrightarrow +2 万円の利益
 \longrightarrow -3 万円の利益

(4) 南へ 10km 進む \longrightarrow 南へ +10km 進む
 \longrightarrow 南へ -12km 進む

(5) 3 時間後 \longrightarrow +3 時間後
 \longrightarrow -2 時間後

(6) 時速 20km で東へ進む \longrightarrow 時速 +20km で東へ進む
 \longrightarrow 時速 -15km で東へ進む

(7) 10cm 長くなる \longrightarrow
5cm 短くなる \longrightarrow

POINT

反対の性質をもつ量

反対の性質をもつ量は、+、-を用いることによって、1つの言葉で表すことができます。

[2]

(1) +10000 円を「10000 円もっている」とすると
-10000 円は「10000 円の借金がある」こと

(2) +100m を「前へ 100m 進む」とすると
-100m は

(3) +5 年を「5 年後」とすると
-5 年は

(4) +1000m を「海拔 1000m」とすると
-1000m は

自分でも、+、-を使って表せる量を考えてみよう。

反対の性質をもつ量

学習日 月 日

年 組 番 氏名

[1]

(1) 100 円の収入 \Rightarrow +100 円の収入
200 円の支出 \Rightarrow -200 円の収入

(2) おこづかいが 1000 円増える \Rightarrow +1000 円増える
おこづかいが 500 円減る \Rightarrow -500 円 増える

(3) 2 万円の利益 \Rightarrow +2 万円の利益
3 万円の損失 \Rightarrow -3 万円の利益

(4) 南へ 10km 進む \Rightarrow 南へ +10km 進む
北へ 12km 進む \Rightarrow 南へ -12km 進む

(5) 3 時間後 \Rightarrow +3 時間後
2 時間前 \Rightarrow -2 時間後

(6) 時速 20km で東へ進む \Rightarrow 時速 +20km で東へ進む
時速 15km で西へ進む \Rightarrow 時速 -15km で東へ進む

(7) 10cm 長くなる \Rightarrow +10cm 長くなる
5cm 短くなる \Rightarrow -5cm 長くなる

POINT

反対の性質をもつ量

反対の性質をもつ量は、+、-を用いることによって、1つの言葉で表すことができます。

[2]

(1) +10000 円を「10000 円もっている」とすると
-10000 円は「10000 円の借金がある」こと

(2) +100m を「前へ 100m 進む」とすると
-100m は 「後ろへ 100m 進む」

(3) +5 年を「5 年後」とすると
-5 年は 「5 年前」

(4) +1000m を「海拔 1000m」とすると
-1000m は 「海面下 1000m」

自分でも、+、-を使って表せる量を考えてみよう。